課題	空き家除却において、「いくらくらい必要か?何から始めるか?誰に頼むか?」が分からず具体的検討が進まない」といった 所有者課題があり、相場観を把握後に想定外の費用の場合、資力面で除却時期が先送りされてしまっている。
目的	手軽に空き家処分に伴う解体相場が分かる事で、空き家をどうするか?の検討機会を所有者に提供します。 売却や適切な管理、土地活用等の行動計画が生まれ、景観維持や防犯・防災面でまちづくりの活性化を図ります。
取組内容	①自治体版解体費用シミュレーター開発 ②自治体に向けた、解体費用シミュレーターの広報、提供 ③連携協定自治体向けに「解体工事の進め方」フライヤー提供 ④空き家に対する所有者意識調査の実施
成果	20自治体と協定締結、70件以上の報道パブリシティ、フライヤー3.8万部発行、自治体版シミュレーター訪問数13,000件以上



空き家処分の検討にあたり、解体工事の知識なく頓挫、費用面が準備できなく頓挫

【所有者の課題】 空き家除却の知見なし

- 1. 何から始めて良いか? 分からない
- 2. いくらかかるのか? 分からない
- 3. 誰に頼んでよいのか? 分からない

【自治体の課題】

- 1. 補助金対象でない物件所有者は検討保留され (おとく感が無い)、そのまま放置が続くと 数年後に近隣クレーム物件になり対応負荷増へ
- 2. 業者紹介問合せに、事業者一覧の案内にとどまり市民サービス向上に至らない



各自治体地域外の居住空き家所有者に対する情報提供の工夫は必須

→空き家所有者の居住地と空き家所在地の位置関係により、 空き家に対する意識と行動実態の差

O 所有している空き家の活用/処分について、以下の行動を取ったことがありますか? **県外所有者4割何もせず**

			メディアで情報収集	如人や友人から情報収集	構入して情報収集 空き家団連の書籍や雑誌を	具体的な方向性を相談家族や親族と	全角を開発的 1977-4-1960分割を 専門サイビスの利用 を表示適用/協分に関する	不動産会社に祖談	銀行の金融機関に相談	専門家に相談 税理士・司法書士・弁護士など	役所など行政に側部	何もしていない 74.9%	その他
全体		747	32.5%	26.5%	23,0%	23.2%	23.0%	23,2%	10.4%	9,9%	8.4%	29,3%	0.0%
位置関係 関作所と望き家の	「近韓空世界」所有者	GE	34.0%	31,1%	25.6%	24.2%	22.1%	18.7%	10.0%	8,4%	7.5%	25.1%	0.0%
	(現内宣告家) 所有者	159	36.5%	23.3%	22.6%	26.4%	29.6%	28.3%	14.5%	16.4%	10.7%	28.3%	0.0%
	「娘外空き家」所有賞	150	24.0%	16.7%	16.0%	16.7%	18.7%	30,7%	7.3%	7.3%	8.7%	42.7%	0.0%

「場外空き家」所有者の約4割 (42.7%) は何もしていない実施

掲載日	媒体名	記事タイトル
2021.09.16	MIRU	クラッソーネ、全国約1,000名へ空き家に関する意識調査を実施
2021.09.20	中部経済新聞	「活用か処分したい」7割 クラッソーネ 空き家所有者意識調査
2021.09.27	日刊產業新聞	クラッソーネ調査/「県外空き家」所有者/4割何も行動せず
2021.09.30	健美家	【全国約1000名に意識調査】「県外空き家」所有者の4割は空き家活用・処分の行動せず、自治体支援策も知らない。
2021.11.05	日刊建設工業新聞	県外所有者4割が行動せず/所有空き家の意識調査実施/クラッソーネ

https://www.crassone.co.jp/news/chosa_release-7/

「近陽空き寄」所有者 607 26.0% 31.8% 18.3% 43.3%

「県外空き家」所有者 242 14.5% 18.6% 18.2% 62.8% 「近隣空き家」所有者で約4割(43.3%)と全体平均より4.7ポイント低い一方で 「県外空き家」所有者は6割以上(62.8%)と全体平均より14.8ボイント高く、

「漢内空き家」所有者 215 23.7% 32.6% 29.8% 44.7%

O 空き家を直接確認しに行く頻度はどの程度ですか? **県外所有者1回以上/月 3割のみ**

			ほぼ毎日	週に1~数回	月に1~数回	年に1~数回	数年に1度程度	分からない
全体		880	13,4%	18.3%	34.9%	25.7%	4.2%	3.5%
位空現 資金住	「近韓空き家」所有者	519	20.2%	25.2%	33.7%	13,5%	3.5%	3.9%
資料の 生素の と	「場内空き家」所有者	187	3.7%	11.8%	46.5%	34.8%	1.6%	1,6%
集のと	「進升空き家」所有着	174	3.4%	4.6%	25.9%	52.3%	9,2%	4.6%

「月に1回以上」空き家を直接確認する頻度は位置関係別で大きく異なる結果に 「近隣空き家」所有者で約8割 (79.1%、全体平均より+12.5ポイント) 「県内空き家」所有者で約6割 (62.0%、全体平均より-4.6ポイント) 「県外空き家」所有者で約3割(33.9%、全体平均より-32.7ポイント)

全国約1,000名へ空き家に関する意識調査

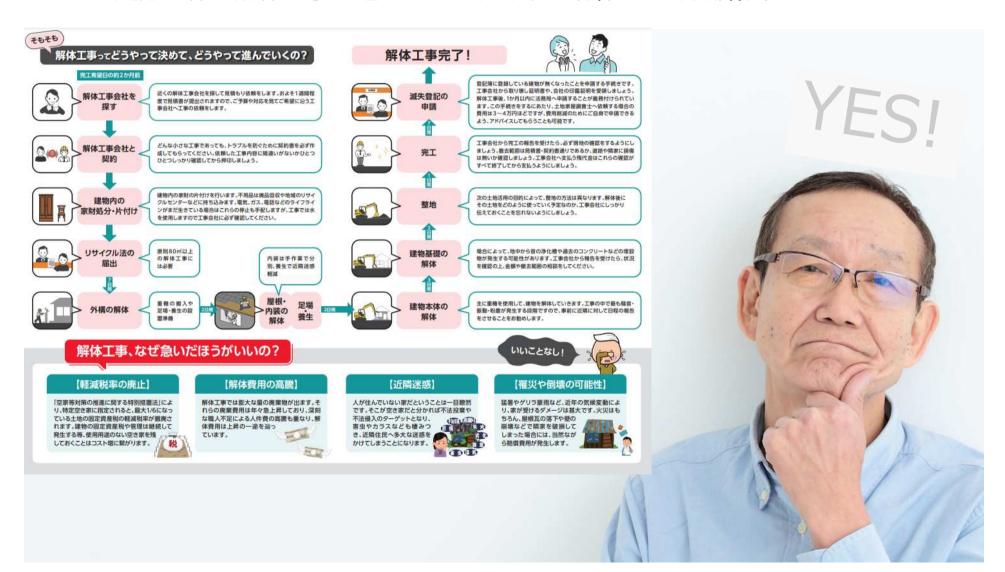
調査方法:インターネットによる調査 調査期間:2021年8月13日~8月15日

調査対象・全国で空き家を所有する30歳以上の里女1 064名



何から始めて良いか? 分からない

→処分に伴う解体工事の進め方のフライヤー制作 3.8万部配布



いくらかかるのか? 分からない

→解体費用シミュレーター開発 13,000件アクセス 2,100件の利用



過去取り扱った解体工事実績情報をもとに、 重回帰分析を用い、各種パラメータ係数を 推定し解体予想金額を算出します。 工事会社から継続的に収集した見積データに よって、推論モデルの再学習も定期的に 行い精度向上を行っていく予定。

国土交通省採択 AIによる解体費用シミュレ 南魚沼市版 一夕活用推進事業

提供: 株式会社クラッソーネ

解体費用シミュレーション結果

予想される解体費用の地域相場

1,614,227円~2,183,954円程度



内訳の例 - 総額 1,899,090円の場合 建物上物解体: 1.899.090円

シミュレーション結果は以下等が含まれません。

- 1. 隣の家の壁の補修費用
- 2. アスベストの除去費用
- 3. 通常工事と異なる環境の割り増し費用

前面道路との高低差などにより機材搬入が困 難な場合等 実際の工事費用は工事会社による 現地調査後の見積もりを確認ください。

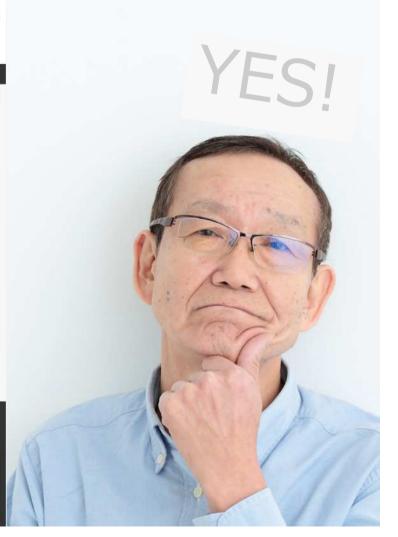
登録した解体工事の内容

建物種別:建物構造:

一戸建て住宅 木造

このまま地域の工事会社を探してみませんか?国土交通省の空き家対策モデル事業に採択された株式会社クラッソーネが安心、安全な解体工事をサポートします。

0120-479-033 平日9:00-18:00 クラッソーネで 無料見積依頼す る



いくらかかるのか? 分からない

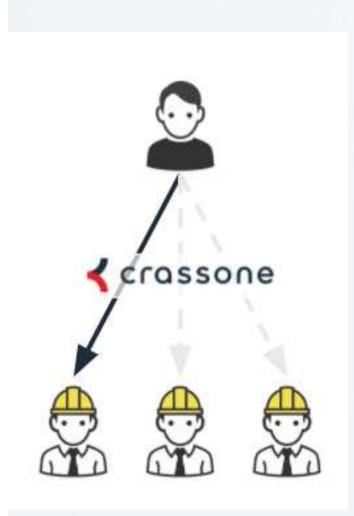
→解体費用シミュレーター周知啓発活動 70件を超えるパブリシティ報道



パブリシティや広告通じコミュニケーション支援

誰に頼んで良いのか? 分からない

→20以上の自治体連携、地域事業者を口コミ・顧客対応力から弊社でマッチング





本事業による期待効果

- ●遠隔地でも手軽
- ネットで簡単

空き家除却

概算把握

空き家の

未来検討

- 親族会議きつかけ
- 資金準備の計画

・残置物の整理

• 利活用の修繕

適切な管理

まちづくり

- •景観の維持
- ●治安の強化

空き家の処分は、解体費用が発生します。早期に解体費用の相場を認識することで、 親族間で空き家をどうするか?という擦り合わせがなされ、資金計画の準備も進めやすくなります。 解体費用の相場認識により、所有継続や利活用といった選択肢も加わり適切な管理推進へ 意識も高まります。特に遠隔地に居住の空き家所有者は、ネットで概算把握できるので、 行動のきっかけに繋がります。

空き家問題が所有者、相続見込み者の「ジブンゴト」にする機会提供と、 自治体窓口の市民サービス向上セットで魅力あるまちづくりの一助につながる施策として 本事業を継続的に発展させてまいります。